

教育最前線

連載 34

●(一社)日本二輪車普及安全協会 四国ブロック

Hondaライディングトレーナーを活用して 高齢者の二輪車事故防止の教育を展開

「ホンダライディングトレーナー(以下、RT)」は、ライダーの危険予測能力の向上に役立つ二輪車安全運転教育機器のさらなる普及を目的にホンダが開発。市街地走行やツーリング走行など様々な交通場面での危険予測トレーニングができる。

(一社)日本二輪車普及安全協会 四国ブロックではこのRTを導入し、地域の公民館やイベント会場などで高齢ライダー(65歳以上)への安全運転教育を展開している。同協会四国ブロック統括事務局長の出口誠一さんは「公共交通機関が充実していない地域では、高齢でもバイクが生活の足となっている方が少なくありません。しかし、そうした方々への安全運転教育の機会が少ないのが実情です。実車による実技講習を高齢者の皆さんに行おうとしても、遠方な方もいて、1カ所に集まっていたり、難しさや実技の際の転倒などのリスクから実施が難しい状況です。そこで、私たちが各地域に出向



き、RTを使って危険感受性を高めてもらい、他の方の運転を見ながら自分の運転を見直す機会にしようという講習会を考えたわけです。警察や交通安全協会とも連携しながら、講習会を開催しています」と話す。

昨年は、8月に愛媛県松山市生石地区高齢者講習会、10月に同南高井地区高齢者講習会を愛媛県二輪車指導員が実施した。生石地区高齢者講習会には高齢者49名が集まり、代表者数名がRTを体験。南高井地区高齢者講習会では参加した11名全員がRTを体験したという。両会場とも、体験者の運転状況は大型のスクリーンに映し出される。体験が終わると、RTの再生機能を使って各々の運転を振り返る。事故に遭った場面、ヒヤリハットした場面では普段、自分



愛媛県松山市の生石地区と南高井地区でのRTによる高齢者講習の様子。指導のための講習を受けた愛媛県二輪車指導員3名が講師役として活動している



参加者一人ひとりに考えてもらう。最後に、講師役の愛媛県二輪車指導員が事故を防止するために必要な危険予測のポイントをアドバイスした。

この他、高知県警察本部で10月に開催された「シニア交通安全ふれあいフェスタ 2014 E Kochi」にもRTを展示し、来場する高齢者に体験してもらい、簡単な講習会を実施している。

「私たちの話を真剣に聞いていただけ、高齢者の皆さんにも好評でした。安全に様々な交通場面を体験できるのがRTのメリットです。その体験によって、若い頃との感覚や反応の違いに気づいてほしいと思います」と出口さんはいう。同協会四国ブロックでは、平成27年度もRTによる高齢者講習会を開催していく考えだ。

高知県警察本部が主催する「シニア交通安全ふれあいフェスタ 2014 in Kochi」にRTを展示し、指導を行った

TOPICS 1

●Hondaの福祉関連安全運転教育プログラム

福祉施設や病院等で送迎を担うドライバーへの安全運転教育を普及するために

ホンダは、介助・介護などの配慮を必要とする送迎サービスが増加する中、サービスを提供する方々が、送迎中の安全運転ノウハウや知識を身につけることができる「移送安全運転教育プログラム」を開発し、全国の交通安全センターで提供している。送迎車両に同乗する利用者への思いやりや配慮の大切さを理解し、車両特性を意識した運転操作を身につけてもらうことが、このプログラムのねらいである。そして、より多くの福祉施設や病院等で活用していただくため、このプログラムの認知・理解向上を図ることを目的とした「視察・体験会」を各地で開催している。

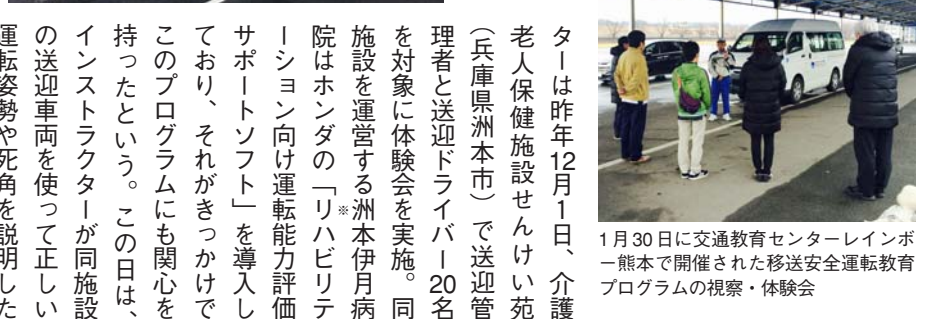
交通安全センターレインボー埼玉では、バスや電車の利用が困難な方を対象にクルマを使って外出の支援を行っているNPO法人のインストラクター等、そして交通安全センターレインボー熊本では、福祉施設や病院で送迎を担当するドライバー等が参加した。視察・体験会では、参加者が実際にクルマに乗ってプログラムを体験。参加者からは「体験型だったので、自ら気づけていない部分に気づくことができたと」「利用者への配慮や事故予防につながると思う」という声がかかれた。また、鈴鹿サーキット交通安全セン



鈴鹿サーキット交通安全センターは介護老人保健施設せんけい苑の送迎管理者と送迎ドライバーを対象に体験会を実施

このように、Hondaは福祉に関わるドライバーの安全性確保に向けた教育機会の普及に向け、さらに力を入れていく考えだ。

後、同乗者に負担をかけないブレーキやハンドルの操作、スムーズで安全なバック走行を指導した。参加者は「こうした講習を定期的に継続していくことはとても良いことだと感じました」と話す。



1月30日に交通安全センターレインボー熊本で開催された移送安全運転教育プログラムの視察・体験会

※リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト=リハビリテーション中の方が、作業療法士などと一緒で四輪での運転復帰に向けて運転に対する評価・訓練をサポートするためのソフト。運転環境の模擬的な再現により、運転操作の手足の複合的動作を楽しみながら行うことができる。詳細は下記ホームページを参照。
http://www.honda.co.jp/simulator/safetynavi/rehabilitation.html